

JASIS 2017 MSPF 臨床質量分析共用プラットフォーム (MS共用PF) <http://www.masspf.jp>

7機種17台のMSを有する国内最大、国際競争力をもったMS共用PF。MSを用いた疾患関連蛋白質の同定、翻訳後修飾や複合体の解析、特定の蛋白質の選択的検出等の技術支援を実施。また、実習会等の開催、実験書等の出版により技術の普及に努めている。

1) 代表・実施機関

代表機関	横浜市立大学	研究業務の統括。ワンストップサービスの運営
実施機関	横浜市立大学	標識及び非標識定量比較解析による疾患関連蛋白質の検出・同定、診断マーカーとしての有用性の検証、翻訳後修飾の解析など
実施機関	国立がん研究センター	独自の定量比較解析法2DICAL法によるがん関連蛋白質の検出・同定、ホルマリン処理パラフィン固定組織切片のショットガン分析、逆相マイクロアレイ技術を用いたMSデータの検証など
実施機関	北里大学	血中、尿中の未変性ペプチドの濃縮とショットガン質量分析など

2) プラットフォームとしての活動

分析技術支援、研究支援、MSとその周辺技術の開発、実用化共同研究
 コミュニティーへの貢献：PF利用拡大、技術普及のためにシンポジウム、研究会、実習会の開催、実験書の出版、分析技術の高度化による我が国の研究レベル底上げへの貢献

3) プラットフォームの活用が期待される研究分野

プロテオミクス、病因蛋白質の究明、診断薬・治療薬の開発、予防医学への活用

4) 人材

技術指導員（利用者に対して施設利用、試料調製、MS取扱い、MSデータ解析、研究成果発表等に関して助言・指導、利用者との情報交換）

キャリアパス：分析技術開発研究者、分析技術者、技術教育者

これからMSによる蛋白質分析を予定されている方は、平野 久著中公新書「タンパク質とからだ」(中央公論新社 2017)をご一読下さい。



